

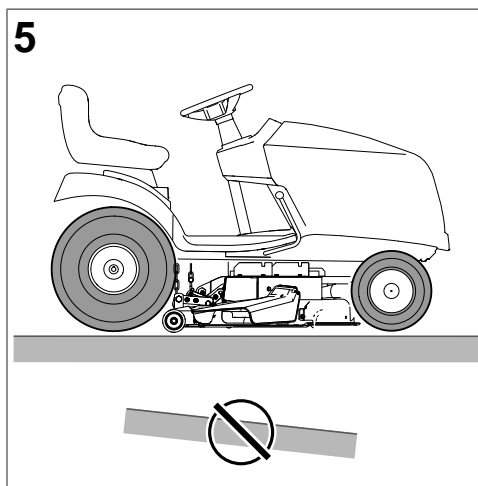
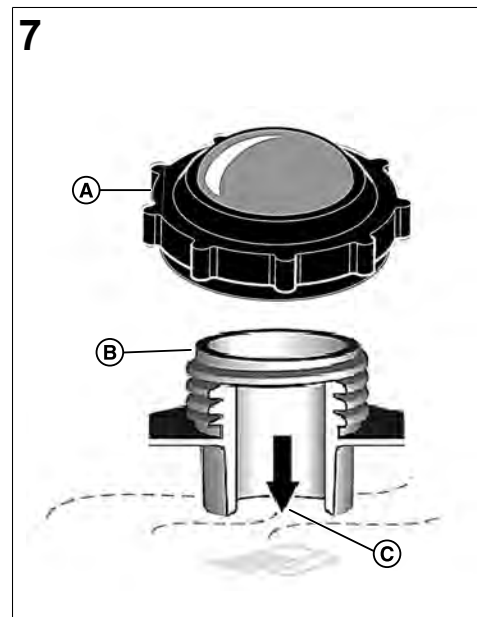
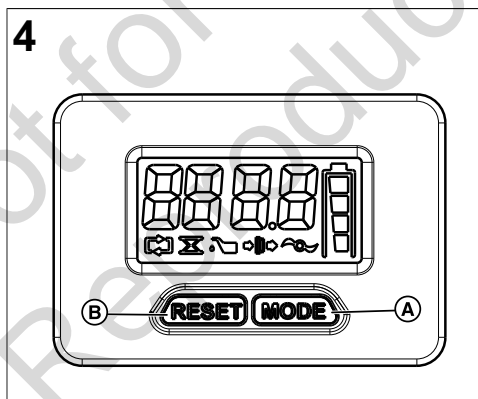
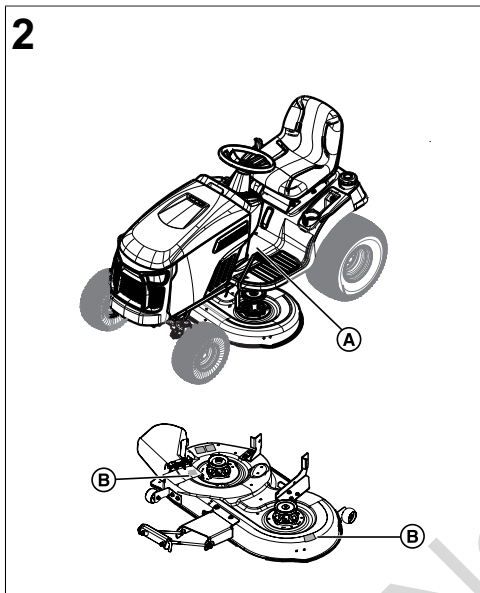
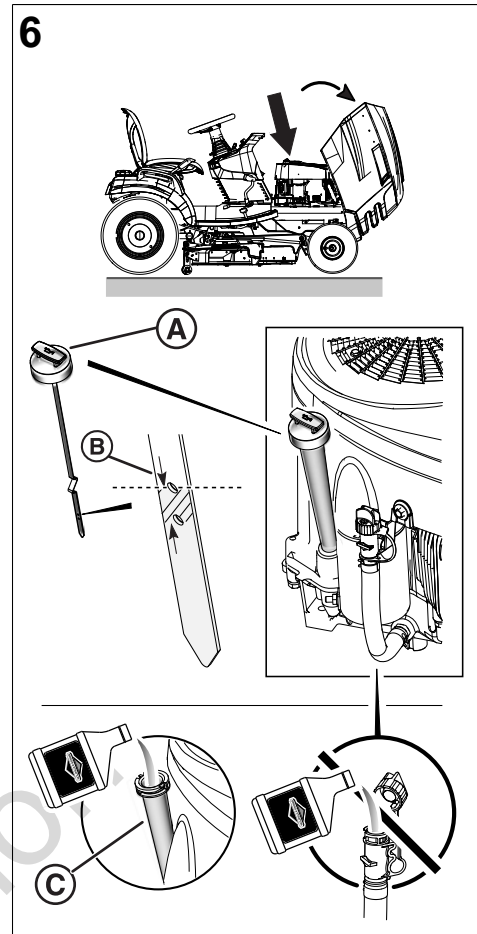
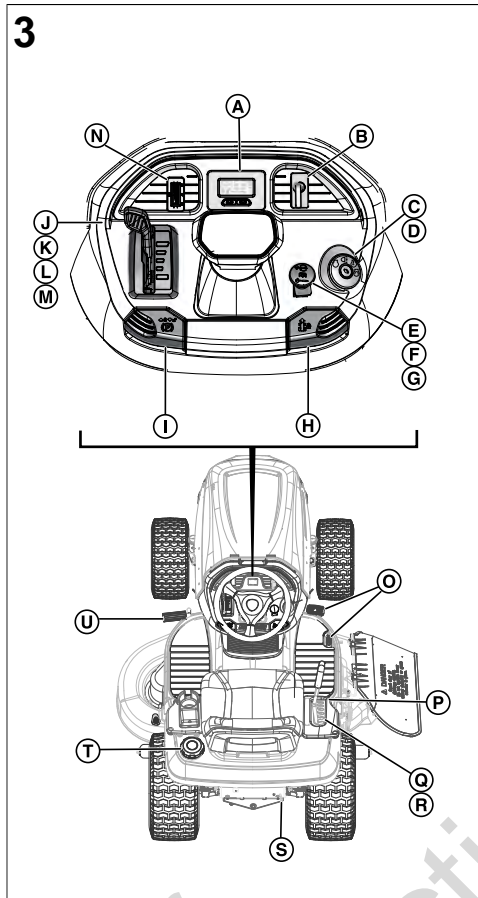
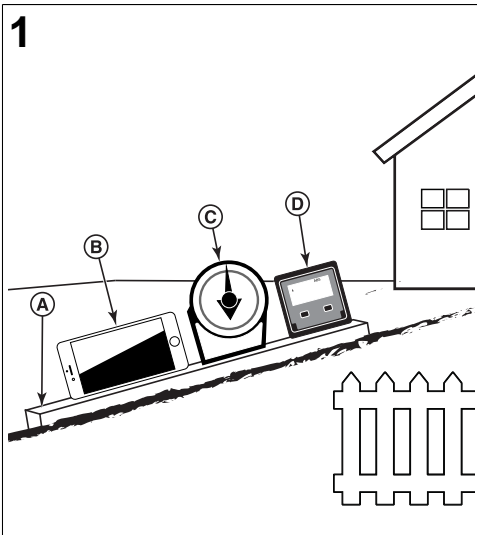
ja 操作マニュアル

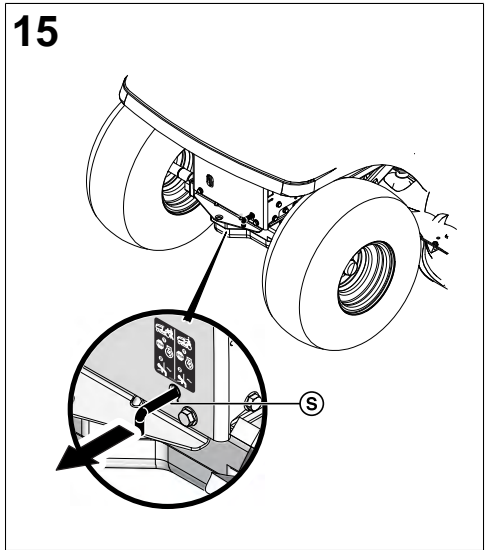
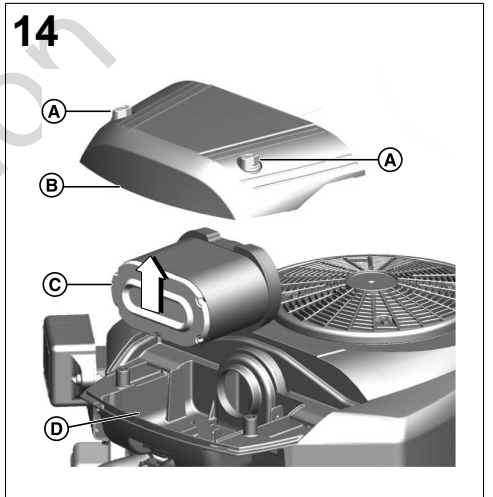
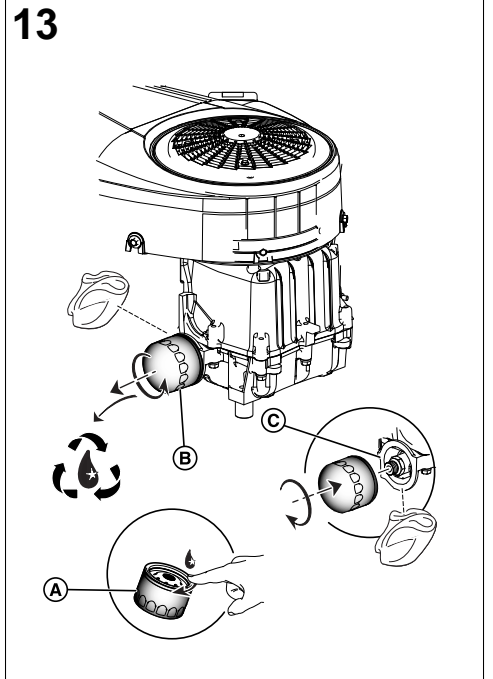
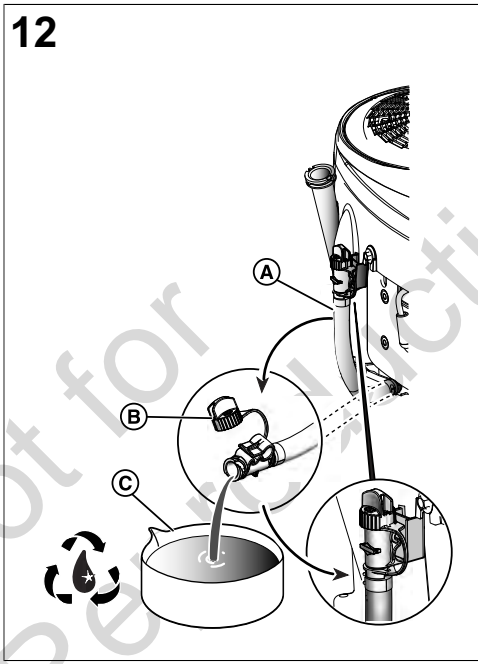
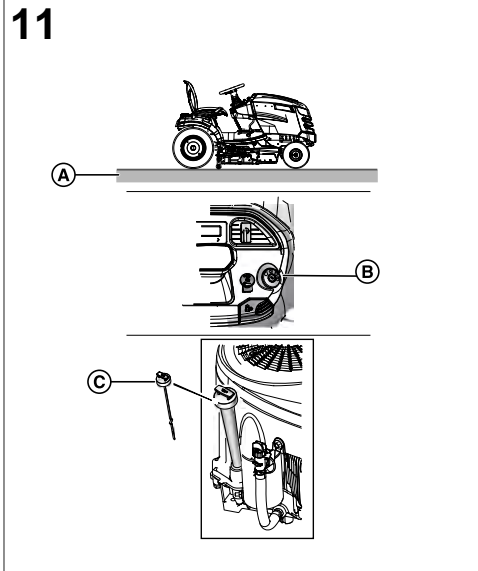
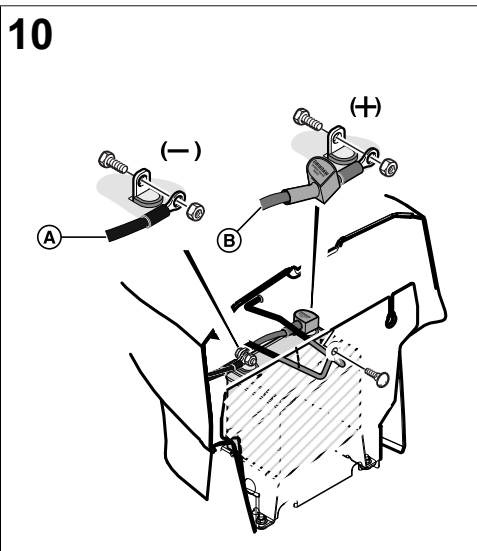
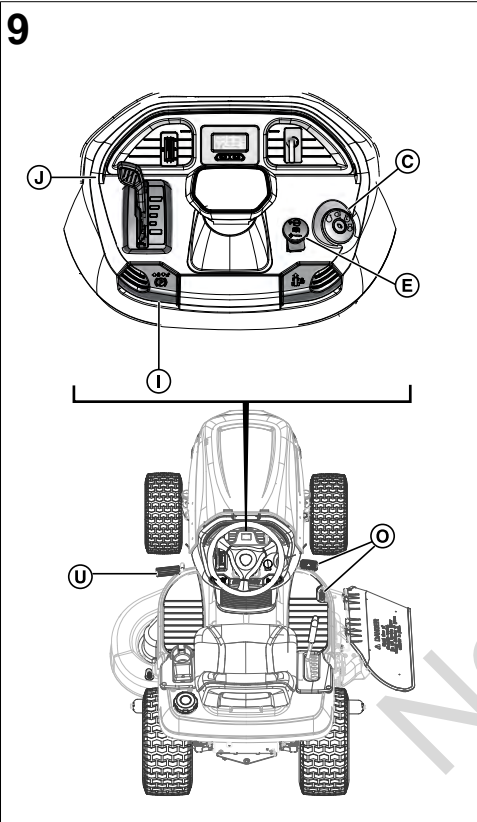
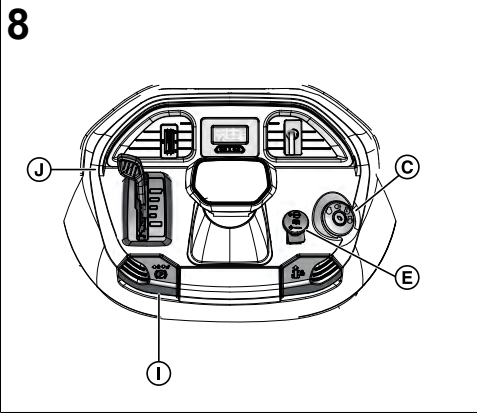


Not
Reproducible

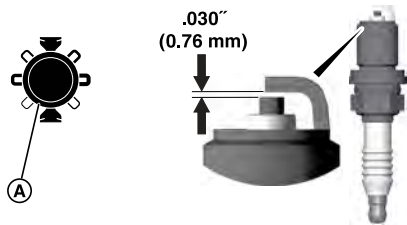
CE







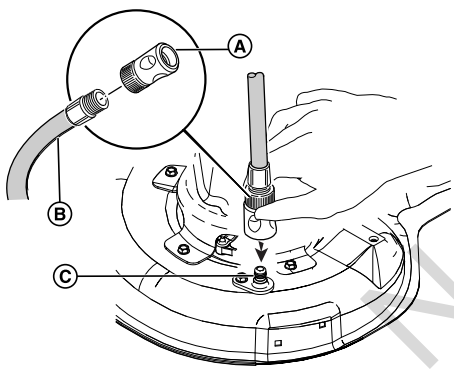
16



17



18



Not for
Reproduction

目次:

本マニュアルの対象製品.....	6
概説.....	6
運転者の安全.....	6
この説明書は保存してください.....	6
傾斜地識別ガイド.....	6
安全に関する記号およびその説明.....	6
安全警告記号およびシグナルワード.....	7
安全シール.....	7
安全のために.....	8
機能及びコントロール.....	8
コントロールの記号と意味.....	8
電子保守表示.....	9
使用.....	10
作業エリア.....	10
安全装置.....	11
エンジン.....	11
操作方法.....	13
メンテナンス.....	15
メンテナンススケジュール.....	15
タイヤ空気圧の点検.....	15
バッテリーの保守.....	15
刈刃の停止時間.....	16
エンジンオイルの交換.....	16
エアフィルターの組み立て (プレクリーナー付きカートリッジ).....	16
トラクターを手で押す.....	16
スパークプラグの点検.....	16
牽引方法.....	17
芝刈り機デッキ部の清掃 (装備されている場合).....	17
保管.....	17
トラブルシューティング.....	18
製品のトラブルシューティング.....	18
芝刈り機部のトラブルシューティング.....	18
仕様.....	19
仕様一覧.....	19
出力定格に関する免責事項.....	19

本マニュアルの対象製品

以下の製品は、本マニュアルの対象製品です。

2691481-00, 2691481- 01, 2691481-02, 2691482-00,
2691483-00, 2691487- 00, 2691487-01, 2691487-02,
2691488-00, 2691489-00, 2691576-00

概説

詳しくは、作業機と同包のお客様用連絡先ガイドを参照下さい。

本文書における挿絵は代表的なものです。お使いの作業機は、表示されている画像とは異なる場合があります。左と右は操作位置から参照されたものです。

文中の重要およびメモは、手順についての明確化、例外あるいは代替を示します。

本書の翻訳は、いずれの言語についても英語の原文ファイルに基づいています。



全ての包装、使用済みオイル、バッテリーは、適用される国の規定に従ってリサイクルして下さい。

運転者の安全

この説明書は保存してください

今後も参照できるように、本手順書を保管しておいてください。本説明書には、製品に関連する危険性およびリスクを認識し、これを回避する為の安全情報が記載されています。また、製品の初期設定、操作および保守中に従う必要のある重要な指示も含まれます。

この製品は十分に手入れの行き届いた芝を刈ることを目的として設計されており、他の目的での使用は想定していません。

装置の起動および操作を試みる前に、これらの指示を読んで理解することが重要です。

この製品の制御および正しい使用方法に充分精通するようにしてください。

作業機を素早く停止し、制御部の連結を解除する方法を理解してください。

傾斜地識別ガイド

スマートフォンや角度測定ツールを使用して芝面の傾斜を測定する方法：






10度以上の傾斜地で使用しないでください。



- 最低約 (2) フィートの直線定規を使用します (A、図1)。2x4 あるいはまっすぐな金属片も使用できます。
- 角度測定ツール。
 - スマートフォンを使用：多くのスマートフォン (B、図1) には、コンパスアプリの下に傾斜計 (角度測定ツール) があります。あるいは、App Storeで傾斜計アプリを検索します。
 - 角度測定ツールを使用：角度測定ツール (CおよびD、図1) は、ホームセンターやオンラインで入手できます (傾斜計、分度器、角度計または角度ゲージの名称で呼ばれています)。ダイヤルタイプ (C) またはデジタルタイプ (D) での測定が可能です。他のタイプでは測定できない可能性があります。角度測定ツールの使用説明書に従ってください。
- 芝生の最も傾斜がある位置に、長さ (2) フィートの直線定規を置きます。傾斜上で上下させます。
- スマートフォンあるいは角度測定ツールを定規の上に置いて角度を読み取ります。これが芝面の傾斜になります。

注 紙ゲージの傾斜識別ガイドは、製品説明書類に含まれています。または製造元のウェブサイトからダウンロードすることもできます。


安全に関する記号およびその説明


記号	説明
	人身傷害の起因となる危険についての安全情報。
	作業機の操作あるいは修理前にこの取扱説明書を読み、理解してください。
	作業機を修理する前に、キーを取り外し、使用説明書をお読みください。
	停止
	火災の危険
	爆発の危険性


記号	説明
	感電の危険性
	有毒煙の危険
	回転部分の危険
	目の保護具を着用
	危険な化学薬品
	高温注意の危険性
	手足の切断の危険
	物がはじき飛ばされる危険
	安全な距離を保つ
	子供を近づけない
	手足の切断の危険


記号	説明
 10° Max.	転覆の危険
 10° Max.	

安全警告記号およびシグナルワード

安全警告記号は  人身傷害につながる危険についての安全情報を示します。シグナルワード（危険、警告、注意）は、警告記号と共に傷害の可能性および重篤性の可能性を示します。また、危険シンボルは危険のタイプを表すために使用される場合があります。

 危険とは、避けられなかった場合に、死亡または重大な負傷につながる危険を指します。

 警告とは、避けられなかった場合に、死亡または重大な負傷につながる可能性のある危険を指します。

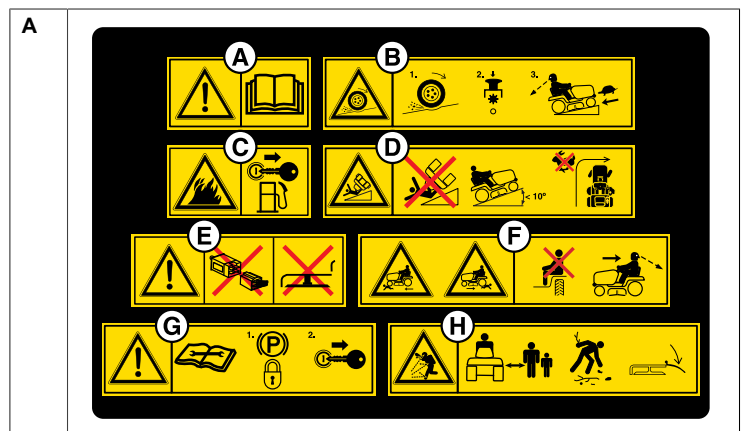
 注意とは、避けられなかった場合に、軽度または中程度の負傷につながる可能性のある危険を指します。

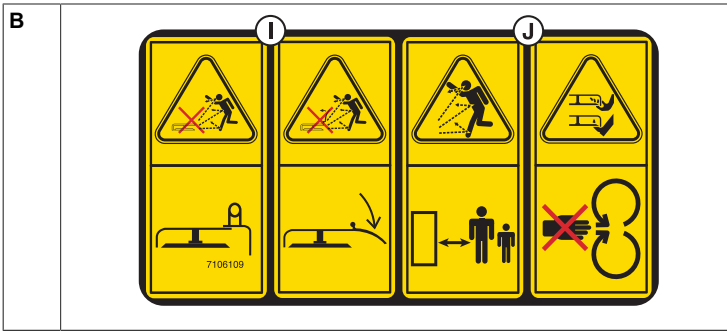
通知は、危険に関するものではないものの、重要な情報を意味します。

安全シール

作業機を使用する前に、安全シールをよく読んでください。図2を次の表に示すシールと比較してください。注意および警告は、使用者の安全に関わるものです。人身事故や装置の損傷を避けるため、安全ステッカーを理解し、それらに従ってください。

重要：安全シールが擦り切れたり、破損したりしたために読めない場合は、交換ステッカーを購入店に注文してください。





安全ステッカーアイコンの定義

安全ステッカーアイコンに記載された文字 (A-J) を、次の表に示す安全性の定義と比較してください。

A	警告：本機械を使用する前に操作マニュアルを読んで理解してください。すべてのコントロール(制御装置)の位置および機能を確認してください。訓練を受けていない場合、この機械を運転しないでください。
B	危険 - 傾斜地上での静止摩擦力、スライディング、操縦および制御の喪失の危険：機械が傾斜地上で前進運動を停止したり、滑り始めたりした場合は、刈刃を止めて、傾斜地からゆっくり走り去ります。
C	危険 - 火災の危険：作業機を芝生、葉および過剰オイルのない状態を保ちます。エンジンが高温時または運転中に燃料の給油はしないでください。エンジンを停止します。燃料を追加する前に、エンジンは少なくとも3分間冷却させて下さい。屋内、密閉されたトレーラー、ガレージなどの密閉された場所で燃料を追加しないでください。こぼれた燃料を除去してください。この機械を運転している間は、たばこを吸わないでください。
D	危険 - 転倒およびスリップの危険：傾斜地では上下に移動しながら刈り取りを行い、横方向に移動しないでください。10度以上の傾斜地では運転しないでください。傾斜地上では、急な方向転換、高速走行中の方向転換はしないでください。
E	危険 - 手足切断の危険および切断手術の可能性：回転する刈刃および可動部による損傷を避けるために、安全装置（ガード、シールドおよびスイッチ）を所定の場所に保持し、機能を維持します。
F	子供などが周囲にいる時は刈り取りをしないでください。刈刃が止まっても、人（特に子供）を乗せないでください。絶対に必要でない限り、後ろ向きに刈り取りをしないでください。作業機を逆方向に運転する前と後ろを見てください。
G	技術資料を調べてから、技術的な修理および保守を行います。機械から離れる時は、エンジンを停止させ、パーキングブレーキをロック位置にセットし、イグニッションキーを抜きます。
H	すぐ近くにいる人や子供から安全な離隔距離を保ちます。刈刃がはじき飛ばす可能性のある物体を取り除きます。排出シュートを所定の場所に付けない状態で、刈り込み作業を行わないでください。
I	排出シュートまたは芝収集装置全体が所定の場所のない状態で、刈り込み作業を行わないでください。
J	回転する刈刃による損傷を避けるには、デッキの縁をきれいのままにして他の物を近づけないようにします。

安全のために



本機を使用する前に、運転者向けマニュアル、芝刈機、エンジンおよびアタッチメントに記載されたすべての指示および警告を読み、理解し、そしてそれらの内容に従ってください。本マニュアルに記載された安全指示に従わない場合、本機を使用することで、死亡または深刻な怪我に繋がる恐れがあります。

- 責任感を持ち、訓練を受け、指示に精通し、身体的に機械を操作できる者のみが操作するようにして下さい。
- アルコールや薬物の影響を受けている場合は、機械を運転しないでください。
- 防護メガネとつま先の閉じた靴を着用してください。
- 回転する部品の近くまたは機械の下に、手や足を置かないでください。吐き出し口には決して近づいてはなりません。
- 製品が正常に使用できる状態を維持してください。摩耗や損傷などしている部品は交換もしくは修理を行ってください。
- 刈刃を交換する際は注意してください。刈刃を何かで包むか、手袋を着用します。破損した刈刃は交換してください。刈刃を修理する、または刈刃を改造することは避けてください。
- 輸送のために機械を積み込む場合、または降ろす場合は、最大幅の傾斜路を使用してください。
- 適切な車輪の重量またはカウンターウェイトについては、アタッチメントまたはアクセサリを参照してください。
- 火災を防ぐため、機械に芝、葉っぱ、その他のゴミなどが溜まらないようにします。残留オイルやこぼれた燃料をきれいに拭き取ります。燃料の付着した異物を取り除き、機械が冷めてから保管してください。



エンジンは一酸化炭素という無臭、無色の有毒ガスを排気します。一酸化炭素を吸うと、頭痛、倦怠感、目まい、嘔吐、混乱、発作、吐き気、失神または死の原因になる場合があります。


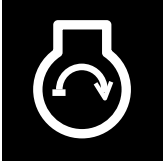





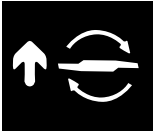
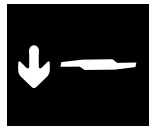

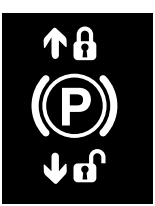


- 製品は屋外でのみ運転してください。
- 排気ガスが、窓、ドア、換気用 吸気口などの開口部を通して密閉区域に入らないようにしてください。

機能及びコントロール

図3の吹き出し文字が、次の表に記載されている機能およびコントロールと一致することを確認します。

コントロールの記号と意味

A		電子ダッシュパネル
---	--	-----------

B		後ろ向き刈り取りオプション (RMO)
C	   	イグニッションスイッチ オフ オン START
D		ヘッドライトスイッチ
E		パワーテイクオフ(PTO)
F		パワーテイクオフ(PTO)、刈刃を回転
G		パワーテイクオフ (PTO)、刈刃を外す
H		クルーズコントロール
I		パーキングブレーキ・コントロール
J		スロットルコントロール
K		スロットルコントロール低速ポジション

L		スロットルコントロール高速ポジション
M		チョーク
N		燃料レベルゲージ(装備されている場合)
O		対地 速度ペダル
P		座席調整レバー
Q		芝刈り機リフトレバー
R		刈高さ調整スイッチ
S		トランスミッション解放レバー
T		燃料タンク
U		ブレーキペダル

電子保守表示

注 作業機を始動すると、保守のディスプレイに合計時間が表示されます。合計時間が999.9を超えると、自動的に0にリセットされます。

合計時間、走行時間、および時計を表示します

1. モードを(A、図4)を1秒以上押して、走行時間を表示します。

- リセット(B)を3秒以上押して、走行時間を0に設定します。
- モードを(モード)を1秒以内で離すと、時計が表示されます。時計の設定項を参照してください。
- モードを(モード)を1秒以内で離すと、合計時間に戻ります。

時計の設定

- モードを(A、図4)を3秒以上押します。時間が点滅しなくなります。
- リセットを押して時間を調節します。
- モードを(モード)を1秒以内で離すと設定を保存します。分が点滅します。
- リセットを押して分を調節します。
- モードを(モード)を1秒以内で離すと設定を保存します。

保守表示

OIL CHANGE (オイルの交換) - このメッセージは、50時間の操作後に表示されます。オイルとフィルターを交換した後、モードを2回押してオイルの時間を表示します。モードを3秒間押し続けると、タイマーはゼロに設定され、表示がクリアされます。

エアフィルター点検 - このメッセージは、25時間の操作後に表示されます。エアフィルターを清掃または交換した後、モードを3回押すと、エアフィルターの時間が表示されます。モードを3秒間押し続けると、タイマーはゼロに設定され、表示がクリアされます。

CHANGE BLADES (刈刃の交換) - このメッセージは、100時間の操作後に表示されます。刈刃を交換後、リセットボタンを3秒以上押し続けると、時間がゼロにリセットされ、表示が消去されます。

バッテリーの残量低下 - このメッセージは、バッテリー電圧の問題が発生した場合に表示されます。バッテリーの充電もしくは交換が行われると、表示は自動的に消去されます。

注 バッテリー残量警告メッセージは他のメッセージよりも優先的に表示されます。まず、バッテリーの補修を行ってから、他の保守メッセージを確認します。

使用

この製品を運転する前に、運転者の安全を読んでください。装置の制御と停止方法を理解している必要があります。

作業エリア

- 芝刈り機の作業エリアを下调べします。
- ゴミなどが刈刃に引っかかってはじき飛ばされることのないように、作業エリアにゴミがないことを確認してください。

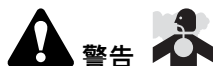


危険

本製品は刈刃を回転させるため、石などをはじき飛ばし、近隣の人にけがを負わせたり、建物などを破損させる可能性があります。

- 刈り草の収集装置、排出シュート、安全装置が正しく取り付けられていない場合や、正しく動作していない場合は製品を使用しないでください。製品に摩耗や劣化がないか確認を頻繁に行い、必要に応じて交換してください。
- 飛散の恐れがある物や操作の妨げになる可能性のある物体は作業エリアから取り除いてから作業を行ってください。

- エンジンの始動は屋外で行ってください。



警告

エンジンは一酸化炭素という無臭、無色の有毒ガスを排気します。一酸化炭素の吸引は、嘔吐、気絶、あるいは死をもたらします。

- すべての傾斜地および急斜面に注意してください。



危険

傾斜地または水辺付近、急斜面での作業は、コントロールを失ったり、転倒したりする危険を伴います。

- 傾斜地では上下に移動しながら刈り取りを行い、横方向に移動しないでください。
 - 減速し、傾斜地を下る場合には注意してください。
 - 10度を超える坂道では操作しないでください。この値は、20フィートで3.5フィート上昇する箇所を意味します。
 - 水辺や擁壁、急斜面では、最低で芝刈機2台分の場所を確保して作業を行ってください。
 - 濡れた芝では作業しないでください。
 - 静止摩擦力、ステアリング、または安定性に疑わしい点がある場合、いかなる状態であっても機械を運転しないでください。車輪が停止していても、タイヤが横滑りすることがあります。
 - 斜面での始動および停止は避けてください。
 - 速度や方向を急に変えないでください。
 - ゆっくりと、徐々に曲がってください。
 - 芝生キャッチャーや他のアタッチメントを付けて機械を操作する際には注意してください。付属の装備が機械の安定性に影響を及ぼすことがあります。
 - けん引される機器の重量制限および傾斜地上のけん引に対する製造者の推奨案に従います。牽引方法を参照してください。
- 操作区域には人が立ち入らないようにし、特に小児には気を付けてください。



危険
このライダー芝刈機には、手足を切断するだけの威力があります。

- 子供や他の人が近づいてきた時は草刈機を止めてください。
- 子供が芝刈り中の作業エリア内に入らないようにし、信頼できる大人が注意深く見守るようにします。
- 刈刃が止まっても、他者（特に子供）を乗せないでください。子供は落ちて、重傷を負ったり、安全な機械の運転を妨げる可能性があります。過去に乗せてもらった子供は、もう一度乗せてもらおうと刈り取り場所に突然現れたり、機械によって前進やバックで思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 視界を遮るかも知れない、見通しの悪い曲がり角、灌木、林などに近づくときは十分に注意してください。

安全装置

この機械には、安全インターロックシステムが装備されています。スイッチや機器をバイパスさせたり、改造したりしないでください。



警告
機械が安全テストに合格しなかった場合は、機械を 작동させないでください。購入店に点検を依頼してください。

試験1 - 次の場合、エンジンは始動しない。

- パワーテイクオフ(PTO)スイッチがオンになっているか、または
- ブレーキペダルが十分に踏み込まれていない(パーキングブレーキがオフ)。

試験2 - 次の場合、エンジンが始動する。

- PTOスイッチがオフになっている。そして
- ブレーキペダルが完全に踏み込まれている(パーキングブレーキがオン)。

試験3 - 次の場合、エンジンが切れる。

- PTOがオンの状態で操縦者が座席から降りた場合、または
- ブレーキペダルが十分に踏み込まれていない状態でオペレーターが座席から降りる(パーキングブレーキがオフ)。

テスト4 - 刈刃の停止時間の点検

芝刈り機の刈刃および芝刈り機の駆動ベルトは、PTOスイッチがオフになってから5秒以内に完全に停止します。芝刈り機の駆動ベルトが5秒以内に停止しない場合は、購入店に点検を依頼してください。

テスト5 - 後ろ向き刈り取りオプション (RMO) の点検

- エンジンは、PTOがオン状態で後ろ向き刈り取りオプション (RMO) が作動していない時に後ろ向きに進もうとすると停止します。
- RMOが作動している場合、RMOランプが点灯します。



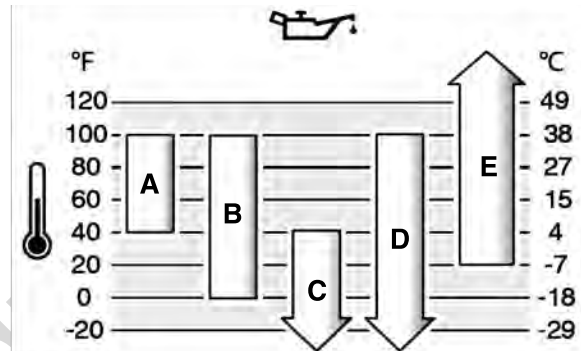
危険
後ろ向きの芝刈りは、すぐ近くにいる人たちにとって危険な場合があります。使用者が子供の存在を見落とした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供がいる場合は、後ろ向き刈り取りオプション (RMO) を作動させないでください。子供は、機器や芝刈りそのものに引き付けられてしまうことが往々にしてあります。

エンジン

エンジンオイルの点検と追加

最適なパフォーマンスを得るために、ブリッグス & ストラットン®純正オイルを使用してください。また、グレードSF、SG、SH、SJ以上に分類される高性能清浄オイルのご使用も可能です。特殊な添加剤は使用しないでください。

屋外の温度によって、エンジンに適したオイル粘度が異なります。下記のチャートを参照して、予想される屋外温度の範囲に最も適した粘度を選択してください。



A	SAE 30 - 40°F (4°C) 以下でSAE 30を使用すると、エンジンの始動不良の恐れがあります。
B	10W-30 - 80°F (27°C) 以上で10W-30を使用すると、オイルの消費量が増加することがあります。オイル量を頻繁に確認してください。
C	5W-30
D	化学合成オイル 5W-30
E	Vanguard® 化学合成オイル 15W-50

*40°F (4°C) 以下でSAE 30を使用すると、エンジンの始動不良の恐れがあります。

**80°F (27°C) 以上で10W-30を使用すると、オイル消費量が増加することがあります。

1. 図5に示すように平らな場所に作業機を置きます。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。オイル充填エリアがきれいであることを確認してください。
3. オイルゲージを引き抜きます(A、図6)。オイルゲージから残留オイルを拭き取ります。
4. オイルレベルゲージを取り付け、締め付けます。
5. 再びオイルゲージを引き抜き、オイルの量を確認します。
6. オイル量が満マーク (B) にあることを確認してください。
7. オイル量が満タの場合は、オイルゲージを取り付けて締めてください。

8. オイル量が少ない場合は、オイル注入チューブ (C) にオイルを追加します。

注 クイック・オイル・ドレーンからオイルを追加しないでください(装備されている場合)。

9. 一分間待ってから、オイル量を再点検してください。
10. オイルレベルゲージを取り付け、締め付けます。

オイルの圧力

オイルの圧力が低過ぎる場合、圧カスイッチ (装備されている場合) はエンジンを停止させるか、または機器に付いている警告装置を作動させます。この状況が発生した場合、エンジンを停止させて、オイルレベルをオイルゲージでチェックします。

オイルレベルが追加マークを下回っている場合、満タンマークに達するまでオイルを追加してください。エンジンを始動してオイル圧が適切であることを確認してから、機械の運転を開始してください。

オイルレベルが、追加マークと満タンマークの間にある場合、エンジンを始動しないでください。購入店へ連絡し点検を依頼して、オイル圧を修正してもらってください。

推奨燃料

燃料は次の条件を満たさなければなりません。

- 汚染されていない、新しい無鉛ガソリン。
- 87 オクタン/87 AKI (91 RON) 以上。高高度での使用は以下を参照してください。
- エタノール含有率が10%以下のガソリン (ガソノール) は使用可能です。

通知 E15やE85などの承認されていないガソリンを使用しないでください。ガソリンにオイルを混入したり、代替燃料で運転するためにエンジンを改造しないでください。承認されていない燃料を使用するとエンジンの部品を損傷させる原因になります。こうした損傷は保証の対象になりません。

燃料システムにガム質が形成されるのを防ぐため、補給するときは燃料に燃料安定剤を混ぜてください。保管を参照してください。すべての燃料は同じではありません。始動または性能の問題が生じた場合、燃料供給業者またはブランドを変更してください。このエンジンは、ガソリンで動作することが保証されています。気化器付きエンジンの排出制御システムは、EM (エンジンモディフィケーション) です。電子式燃料噴射装置付きエンジンの排出制御システムは、ECM (エンジンコントロールモジュール)、MPI (マルチポートインジェクション)、そして装備されている場合には O2S (酸素センサー) です。

高地

5 0 0 0 フィート (1524 m) 以上の高地では、最低限85 オクタン/85 AKI (89 RON) のガソリンが許容されます。

キャブレター・エンジンでは、高地調整を行って性能を保つて下さい。この調整を行わない運転では、性能の劣化、燃料消費の増加、および排気の増加が生じます。高地調整の情報については、Briggs & Stratton認定のサービス・ディーラーにご連絡下さい。2,500フィート (762 m) 以下の高度では、高地調整の状態でのエンジンの運転は推奨しません。

電子燃料注入 (EFI) エンジンでは、高地調整は不要です。

燃料の給油方法



燃料およびその蒸発ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすい性質があります。燃料の取り扱いには十分注意してください。これ等の安全の指示が守られない場合は、重篤な火傷や死亡の起因となる火災あるいは爆発が起こる可能性があります。

燃料を補給する場合

- エンジンを停止し、3分以上冷やしてから燃料キャップを外します。
 - タバコ、葉巻、パイプなどの点火源はすべて消します。
 - 燃料タンクは屋外、あるいは換気の良い場所で燃料を給油してください。
 - 燃料タンクを過剰に給油しないでください。燃料の膨張を許容するために、燃料タンクの給油口の首部の底部より上まで給油しないでください。
 - 燃料は、スパーク、直火、パイロット・ランプ、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけてください。
 - ひびや漏れがないか定期的に燃料ライン、タンク、キャップ、および接続部を確認してください。必要に応じて交換してください。
 - 燃料がこぼれたときは、こぼれたものが完全に蒸発するまで、エンジンをかけたり、キーを回したりするのは避けてください。
 - 認可された燃料容器のみを使用してください。
1. 燃料キャップ周辺かごみなどの異物を除去してください。
 2. 燃料キャップ(A、図7)を取り外します。
 3. 燃料タンク (B) に燃料を給油します。燃料タンクの頸状部の下部以上に充填しないで下さい (C)。
 4. 燃料キャップを取り付けます。

エンジンの始動方法



燃料およびその蒸発ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすい性質があります。

火災および爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

エンジン始動時:

- スパークプラグ、マフラー、燃料キャップおよびエアクリーナー(装備されている場合)が適切に設置されていることを確認します。
- スパークプラグを外した状態でエンジンのクランクを回さないでください。
- エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、チョーク(装備されている場合)をOPEN/RUNの位置に設定し、スロットル(装備されている場合)をFASTの位置にしてエンジンが始動するまでクランクを回してください。



警告

エンジンは一酸化炭素という無臭、無色の有毒ガスを排気します。

一酸化炭素の吸引は、嘔吐、気絶、あるいは死をもたらします。

火災および爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

- エンジンの起動と運転は屋外で行ってください。
- 扉や窓が開いていてもエンジンの始動や運転は閉鎖された場所で行わないでください。

1. エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルの点検と追加を参照してください。
2. 機器の駆動制御装置が停止していることを確認します。
3. 座席に座り、座席調整レバーを持ち上げ、座席を適切な位置にロックします。
4. パーキングブレーキ制御装置 (I, 図8) をかけます。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキ制御装置を引き抜き、ブレーキペダルを放します。
5. PTOスイッチ(E)を押してオフにします。
6. スロットル / チョーク制御装置(J)をCHOKEの位置にセットします(装備されている場合)。
7. イグニッションスイッチ(C)にキーを差し込み、STARTの位置にします。プッシュボタンスタートモデルの場合は、ボタンを2回押し、エンジンが始動するまで押し続けます。
8. エンジンの始動後、スロットル / チョーク制御装置を半分の速度に移動させます。必ず、エンジンを30秒以上オンにします。これでエンジンが温まります。
9. スロットル / チョーク制御装置を高速位置にセットします。

注 緊急時には、イグニッションスイッチをオフの位置にします。これでエンジンが停止します。エンジンの停止を参照してください。

注 2、3回試みてもエンジンが始動しない場合、購入店に点検を依頼してください。

エンジンの停止



燃料およびその蒸発ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすい性質があります。火災および爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

- キャブレターのチョークによるエンジンの停止は行わないで下さい。

1. 前方対地速度制御ペダル(O、図9)を放します。
2. パワーテイクオフ (PTO) スイッチ(E)を切ります。全ての動作が終了するまで待ちます。
3. スロットルコントロール (J) を低速ポジションにします。

4. イグニッションキースイッチ(C)をオフの位置へ回します。キーを抜きます。
5. パーキングブレーキ制御装置(I)をオンにします。ブレーキペダル(U)を踏み、パーキングブレーキ制御装置を引き上げ、ブレーキペダルを放します。

緊急時には、イグニッションスイッチをオフの位置にします。これでエンジンが停止します。

操作方法

1. 座席に座った状態ですべてのコントロールに無理なく手が届くよう、座席に着座し座席を調節します。機能とコントロールを参照してください。
2. パーキングブレーキをかける :
 - A. ブレーキペダルを完全に踏み込みます。
 - B. パーキングブレーキ制御装置を引っ張り上げて、
 - C. ブレーキペダルを解除します。
3. PTOをオフにします。
4. エンジンを始動します。エンジンの始動を参照してください。
5. パーキングブレーキを解除する :
 - A. ブレーキペダルを完全に踏み込みます。
 - B. パーキングブレーキ制御装置を押し込みます。
 - C. ブレーキペダルを解除します。
6. 速度制御ペダルを踏み込んで前進します。ペダルを放して停止します。

注 ペダルを深く踏み込めば、トラクターは速く進みます。

7. トラクターの停止 :
 - A. 速度制御ペダルを放します。
 - B. パーキングブレーキをかけます。
 - C. エンジンを停止します。エンジンの停止を参照してください。

クルーズコントロール

1. 前方走行ペダル(O、図3)を踏み込みます。機能とコントロールを参照してください。
2. 希望する速度に達したら、クルーズコントロールを引っ張り上げます。クルーズコントロールは、5ヶ所のロック位置の1つにロックされます。
3. ブレーキペダル(U、図3)または前方走行ペダルを踏み込み、クルーズコントロールをオフにします。機能とコントロールを参照してください。

芝刈り作業



危険

この機械により手足が切断されたり、物体が吹き飛ばされたりする可能性があります。安全指示に従わない場合、死亡または深刻な怪我に繋がる恐れがあります。

- 機械は、日中または良好な人工光の中でのみ運転します。
 - 穴、わだち、突起物、岩、他の隠れた危険物は避けてください。
均等でない地形は装置を転倒させたり、運転者がバランスや足場の安定を崩したりする原因となりますことがあります。
 - 排出物を人に向けて排出しないでください。排出物が運転者に向かって跳ね返る可能性があるため、排出物を壁や障害物に向けて排出しないでください。
 - 砂利面を横切る時は刈刃を停止させます。
 - 運転中の機械から離れないでください。駐車するときは常に地面と同じ高さの場所に機械を停車させ、アタッチメントを外し、パーキングブレーキをかけてエンジンを停止し、始動装置のキーを抜きます。
1. パーキングブレーキ制御装置 (I、図3) をオンにします。
 2. PTOスイッチ(E)が切れていることを確認します。
 3. エンジンを始動します。エンジンの始動を参照してください。
 4. スロットルレバー (J) を高速位置にセットします。
 5. PTOスイッチを始動位置にして、芝刈り機の刈刃を作動させます。
 6. 刈高さ調整スイッチ (R) を使用して、刈高さを好みの高さに設定します。芝刈り機刈高さの調整をご覧ください。
 7. パーキングブレーキ制御装置を外して、芝刈りを開始します。
 8. PTOをオフにします。
 9. エンジンを停止します。エンジンの停止を参照してください。



警告

エンジンは、PTOがオン状態でRMOが作動していない時に後方走行ペダルを踏み込むと停止します。トラクター操作を行う前に、必ずPTOをオフにしてください。突然、制御を失うと、危険を引き起こす可能性があります。

刈高さの調整

芝刈り機リフトレバー(Q、図3)を使用してデッキを刈高さに下げるか、または輸送位置にデッキを上げます。

1. デッキを下げる：
 - A. 芝刈り機リフトレバーを少し後ろ方向に引きます。
 - B. 芝刈り機リフトレバーを左に倒します。
 - C. 芝刈り機リフトレバーを引き下げます。
2. デッキを上げる：
 - A. 芝刈り機リフトレバーを上方向に引きます。

B. 右のノッチに固定します。

注 輸送位置にデッキが上がっている時は芝を刈らないでください。

注 刈高さ調整スイッチ(R、図3)を使用して、芝刈り機の刈高さを調整します。刈高さは1.5 - 3.5インチ(2.5 - 8.89 cm)の間で調整できます。仕様を参照してください。

後ろ向き刈り取りオプション (RMO)



危険

後ろ向きの芝刈りは、すぐ近くにいる人たちにとって危険な場合があります。使用者が子供の存在を見落とした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供は、機器や芝刈りそのものに引き付けられてしまうことが往々にしてあります。子供を最後に見た場所に彼らがそのまま居ると思い込まないでください。

- 子供が芝刈り中の作業エリア内に入らないようにし、信頼できる大人が注意深く見守るようにします。
- 刈刃が止まっても、他者（特に子供）を乗せないでください。子供は落ちて、重傷を負ったり、安全な機械の運転を妨げる可能性があります。過去に乗せてもらった子供は、もう一度乗せてもらおうと刈り取り場所に突然現れたり、機械によって前進やバックで思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 絶対に必要でない限り、後ろ向きに刈り取りをしないでください。常に、バックをする前とその最中は、下や後ろを確認してください。
- 後ろ向き刈り取りオプションを有効にしなくても、機械が後ろ向きで刈り取りを始める場合は、購入店に点検を依頼してください。



1. パワーテイクオフ (PTO) をオンにします (E、図3)。
2. 後ろ向き刈り取りオプション (RMO) キー (B) をオンの位置にセットします。
3. L.E.D. ライトがオンになります。
4. 運転者は、これで後ろ向きに芝刈りを行うことができます。

注 キーを抜いて、RMO機能の操作を制限します。

メンテナンス



警告
不測のスパークは、火災や電気ショックの原因となります。
不測の始動は、外傷性切断や裂傷の原因となります。

調整および修理前：

- スパークプラグワイヤを外します。スパークプラグから離れたところに保管します。
- セルスタートのエンジンでは、バッテリーをマイナス(-)端子側で外してください。
- 適切な工具のみ使用してください。
- ガバナ・スプリング、リンク、その他の部品に手を加えてエンジンの回転数を変更しないでください。
- 交換部品は、純正部品を適切に組みつけてください。純正部品以外は適切に作動せず、製品の破損や使用者にけがを与える可能性があります。
- フライホイールにハンマーや固い物体で衝撃を与えると運転中に破損する可能性があります。

メンテナンススケジュール

芝刈り機
8時間ごと、あるいは毎日
安全インターロック・システムを点検します。
ライダー、芝刈り機のデッキ、エンジンルームから異物を取り除く。
25時間ごと、あるいは年に一回*
タイヤ空気圧の点検。
芝刈り機の刈刃の停止時間の点検。
芝刈り機の部品などに緩みがないことの点検。
50時間ごと、あるいは年に一回*
バッテリーおよびケーブルの清掃。
ライダーブレーキの点検。
年に一回、Briggs & Strattonの正規サービスディーラーに診てもらうこと
ライダーおよび芝刈り機の潤滑油の給油。
芝刈り機の刈刃の点検**

*いずれか早い方。

**砂地または塵埃の多い場所では、より頻繁に刈刃を点検してください。

エンジン
最初の5時間
エンジンオイルの交換。
8時間ごと、あるいは毎日
エンジンオイルレベルの点検。
25時間ごと、あるいは年に一回*
エアフィルターおよびプレクリーナーの清掃。**
50時間ごと、あるいは年に一回*
エンジンオイルの交換。
オイルフィルターの交換。
年に一回
エアフィルターの交換。
プレクリーナーの交換。

エンジン
年に一回購入店で点検
マフラーとスパークアレスタの点検。
スパークプラグの交換。
燃料フィルターの交換。
空気冷却システムのクリーニング。

*いずれか早い方。

**埃っぽい場所や、ごみが空中を浮遊する場所では、より頻繁に清掃してください。

タイヤ空気圧の点検

正常なけん引力と最高の刈り取り性能を得るため、タイヤ空気圧が12-14 psi(0.82-0.96 bar)であることを確認してください。メンテナンススケジュールの「タイヤ空気圧の点検」を参照してください。また、仕様項の「タイヤの空気圧」も参照してください。

注 タイヤ空気圧は、タイヤの側壁に表示された「最大空気圧」にわずかに異なる可能性があります。

バッテリーの保守

バッテリーおよびケーブルの清掃



警告
バッテリー・ケーブルを外したり取り付けたりする時は、マイナス極(黒)ケーブルを最初に外し、最後に再接続します。この順番で行わないと、プラス極端子が、工具などによってフレームに接触してショートする場合があります。

注 エンジンがオンになっている時に、バッテリー・ケーブルを外したり取り付けたりしないでください。

1. エンジンを停止します。キーを抜きます。
2. バッテリーから最初にマイナス極(-)ケーブルを取り外します(A、図10)。
3. バッテリーから最後にプラス極(+)ケーブル(B)を通り外します。
4. 重曹と水でバッテリーの表面を清掃します。
5. ワイヤブラシと端子クリーナーを使用して、バッテリー端子およびケーブル端を清掃します。
6. ケーブル先端およびバッテリー端子をワセリンまたは非導電グリースを塗布します。
7. フィルターを取り付けます。
8. プラス極(+)ケーブルをバッテリーに最初に取り付けます。
9. マイナス極(-)ケーブルをバッテリーに最後に取り付けます。

バッテリーの充電



警告
直火およびスパークをバッテリーから離してください。バッテリーから来るガスは、爆発性が高いです。

バッテリーが上がる場合、またはエンジンを始動するにはバッテリーが弱すぎる場合は、充電システムなどの電装品の欠陥が原因である可能性があります。問題の原因について疑いがある場合は、購入店に点検を依頼してください。バッテリーを交換するには、バッテリーおよびケーブルの清掃を参照してください。

刈刃の停止時間



警告

芝刈機の刈刃が5秒以内に停止しない場合、クラッチを調整する必要があります。購入店で点検調整を行うまで使用しないでください。

パワーテイクオフ(PTO)スイッチをオフにすると、芝刈機の刈刃および芝刈機の駆動ベルトは5秒以内に停止するはずですが、芝刈機の駆動ベルトが5秒以内に停止しない場合、購入店に点検を依頼してください。

エンジンオイルの交換

1. ライダーを平らな場所に置きます(A、図11)。
2. エンジンを切り、始動装置の挿入物またはキー(B)を抜きます。
3. オイル注入部とフィルター周辺の汚れを拭き取ります。
4. オイルゲージ(C)を抜きます。
5. オイルドレーンホース(A、図12)を取り外します。
6. 慎重にキャップ(B)を取り外して、ホースを適切な容器(C)に差し込みます。
7. オイルを抜いた後、キャップをしっかりと取り付けてホースをエンジンの横側に取り付けます。
8. オイルフィルター(B、図13)を取り外して廃棄します。
9. オイルフィルターのガスケット(A)をきれいなオイルで軽く潤します。
10. 手で、ガスケットがオイルフィルターアダプター(C)に触るまでオイルフィルターを取り付けます。それから、1/2から3/4回転分締め付けます。
11. オイルを加えます。オイルの点検と追加セクションを参照してください。

エアフィルターの組み立て(プレクリーナー付きカートリッジ)



警告

火災の危険性があるため、エアクリーナーアセンブリまたはエアフィルターを取り外して、エンジンを始動または運転しないでください。

通知 エアフィルターの清掃に、圧搾空気やシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。圧搾された空気やシンナーなどの有機溶剤でフィルターが破損したり、シンナーなどの有機溶剤でフィルターが溶けたりする場合があります。

1. ファスナー(A、図14)を緩め、カバー(B)を取り外します。
2. エアクリーナーアセンブリ(C)を取り外します。

3. キャブレーター(D)に入り込む可能性がある異物や破片を取り除きます。
4. エアフィルターからプレクリーナーを取り外します。
5. フィルターを固い面の上で軽くたたき、付着した汚れを取り除きます。エアフィルターが汚れている場合は交換します。
6. プレクリーナーを液体洗剤および水に浸します。完全に空気乾燥させます。プレクリーナーに潤滑油を塗らないでください。
7. プレクリーナーが乾いたら、エアフィルターに取り付けます。
8. エアフィルターアセンブリを取り付けます。
9. カバーを取り付け、ネジを締めます。

トラクターを手で押す

1. パワーテイクオフ(PTO)をオフにします(D、図3)。
2. エンジンを停止します。エンジンの停止を参照してください。
3. トランスミッション解放レバーを引きます(S、図15)。レバーを押し下げて、所定の位置に固定します。
4. これでライダーは手で押すことができます。



警告

装置の牽引は、トランスミッションの損傷の原因になります。この装置を押し下げるのに別の車両を使用しないでください。エンジンがオンの時に、トランスミッション解放レバーを作動させないでください。

スパークプラグの点検



警告

不測のスパークは、火災や電気ショックの原因となります。

不測の始動は、外傷性切断や裂傷の原因となります。

スパークの点検時：

- 認定されたスパークプラグテスターを使用してください。
- スパークプラグを取り外した状態では、スパークの点検はしないでください。

通知 スパークプラグには様々な熱価があります。正しいスパークプラグを使用することが重要です。さもないと、エンジンが損傷する可能性があります。スパークプラグを同タイプのものか同等品と交換します。

スパークプラグの清掃

ワイヤブラシおよび頑丈なナイフでスパークプラグを清掃します。研磨剤を使用しないでください。

スパークプラグギャップの点検

スパークプラグ隙間ゲージ(A、図16)を使用して、2個の電極の間の隙間を点検します。正常な隙間の場合は、隙間ゲージを通すと、僅かに引っ掛かります。

スパークプラグギャップを調整するには、スパークプラグゲージを使用して、曲がっている電極を優しく曲げます。中央の電極または陶器に触れないようにしてください。

スパークプラグの取り付け

指でスパークプラグを締めて、図17に示すようにレンチで締めます。

- 180 インチ・ポンド (20 Nm) または
- 元のスパークプラグを取り付ける場合は1/2回転させます。
- 新しいスパークプラグを取り付ける場合は1/4回転させます。

牽引方法

1. 作業機をけん引する前に、連結装置がけん引用に設計されていることを確認してください。
2. けん引される機器は連結装置点のみに取り付けてください。
3. けん引される機器と傾斜地上のけん引については、重量制限の推奨事項に従ってください。
 - 総重量 (トレーラーと荷重) が400ポンド (181.4 kg)。
 - ヒッチ部の上下は最大で20ポンド (9.1 kg)。
 - 傾斜地では、10°制限から5°制限を設定します。
4. けん引される機器に子供やその他の人物を乗せないでください。
5. 傾斜地上では、けん引される機器の重量が静止摩擦力の喪失や、制御の喪失の原因になる可能性があります。
6. ニュートラルにシフトして、惰性で坂を下りないでください。

芝刈り機デッキ部の清掃 (装備されている場合)

注 洗淨ポート(C、図18)を使用して、芝刈り機デッキの底面を清掃します。

1. ライダーを荒れていない水平面に置きます。
2. クイックディスクコネクタ(A、図18)をガーデンホース (B) に取り付けながら、芝刈り機デッキの洗淨ポート (C) に接続します。
3. 水を流します。
4. エンジンを始動します。エンジンの始動を参照してください。
5. 刈高さを最高位置に設定します。芝刈り機刈高さの調整を参照してください。
6. パワーテイクオフ (PTO) をオンにし、芝刈り刃を作動させます。刈刃の回転と水が芝刈り機の底面をクリーニングします。
7. PTOをオフにします。
8. エンジンを停止します。エンジンの停止を参照してください。
9. 水を止めます。
10. ガーデンホースとクイックディスクコネクタを洗淨ポートから取り外します (C)。

保管



(燃料の入った) 装置は密閉された、換気の良くない構造物の中で保管しないでください。燃料の気化ガスは、点火源 (加熱炉、給湯器といったもの) に移動し、爆発を引き起こす可能性があります。

- 燃料の気化ガスに引火する可能性があるため、炉、ストーブ、給湯器、その他のパイロット・ランプやその他の着火源を持つ器具からは離して保管してください。

装置

パワーテイクオフ (PTO) をオフにして、パーキングブレーキをかけます。スターター始動キーなどを引き抜き、製品を冷却させます。

バッテリーを取り外すと、バッテリーの寿命が延びます。バッテリーは、必ず涼しく乾燥した場所で、完全に充電した状態で保管してください。バッテリーを装置に付けたままにする場合は、マイナス極ケーブルを外してください。

燃料系統

燃料を保存容器で30日以上保管すると、燃料が劣化するおそれがあります。燃料を容器に入れる際には、燃料劣化防止剤メーカーの説明書にそって、燃料に燃料劣化防止剤を追加してください。燃料を新鮮に保ち、燃料関連の問題や燃料系統の汚染を減らすことができます。

エンジンからの燃料の抜き取りは、燃料劣化防止剤を加える際には必要ありません。保管する前にエンジンを2分間かけて、燃料と劣化防止剤を燃料系統内で循環させます。

長期保管後、装置を始動する前に行うこと :

- すべての液体レベルを点検します。すべての保守項目を点検します。
- 本マニュアルに記載されている、すべての推奨点検および手順を行います。
- 装置を使用する前に、エンジンが温まっていることを確認してください。

トラブルシューティング

製品のトラブルシューティング

問題	原因	対策
エンジンが回転または始動しない。	ブレーキペダルが踏み込めない。	ブレーキペダルを完全に踏み込みます。
	燃料が入っていない。	エンジンが熱い場合、温度が下がるのを待ってから、燃料タンクに補給します。
	PTOスイッチがオンの位置にある。	PTOスイッチをオフの位置に設定します。
	クルーズコントロールレバーが作動位置にある。	クルーズコントロールをニュートラル/オフの位置に移動します。
	燃料が濃くなりすぎている。	チョークを外す。
	バッテリー端子が汚れている。	バッテリーおよびケーブルの清掃を参照してください。
	バッテリーが放電したか、またはバッテリー切れとなっている。	バッテリーを再充電するか、交換します。
	配線が緩んでいるか断線している。	配線を目視チェックする。ワイヤが擦り切れたり、断線したりしている場合は、正規のサービスディーラーに診てもらってください。
エンジンの起動が困難または動きが悪い。	燃料が濃すぎる。	エアフィルターを清掃します。
エンジンがノックする。	オイルレベルが低い。	必要に応じてオイルを追加して下さい。
	オイルのグレードが違っている。	エンジンオイルの点検と追加セクションを参照してください。
オイルの消費が過剰。	エンジンが熱すぎる。	エンジンの羽根、送風機画面、および空気清浄機(装備されている場合)を確認します。
	オイルのグレードが違っている。	エンジンオイルの点検と追加セクションを参照してください。
	クランクケース内のオイルが多過ぎる。	過剰なオイルを排出する。
エンジンの排気色が黒い。	エアフィルターが汚れています。	エアフィルターのメンテナンスセクションを参照してください。
	チョークが閉じている。	チョークを開きます。
エンジンは始動するが走行しない。	スピードコントロールペダルが踏み込めない。	スピードコントロールペダルを踏み込みます。
	トランスミッションの解放レバーが押位置にある。	トランスミッションの解放レバーをドライブの位置に移動します。
	パーキングブレーキがかかっている。	パーキングブレーキを外します。
製品のステアリングハンドルが重いか、ハンドルの動きが悪い。	タイヤ空気圧が規定値にない。	タイヤ空気圧の点検項を参照してください。

注 他の問題については購入店へ点検を依頼してください。

芝刈り機部のトラブルシューティング

問題	原因	対策
芝刈り作業が均等に行えない。	タイヤ空気圧が正常ではない。	タイヤ空気圧の点検セクションを参照してください。
きれいに芝刈りができない。	エンジン速度が低速過ぎる。	高速スロットルに設定します。
	対地速度が高速過ぎる。	速度を落します。
芝刈り機を起動すると、エンジンが簡単に失速する。	エンジン速度が低速過ぎる。	高速スロットルに設定します。
	対地速度が高速過ぎる。	速度を落します。
	エア・クリーナーが汚いまたは目詰まりを起こしている。	エアフィルターのメンテナンスセクションを参照してください。
	刈高さの設定が低すぎる。	高い草を刈る場合、初回は一番高い刈高さでカットしてください。
	エンジンが動作温度にない。	エンジンを起動して数分間暖機運転します。
エンジンは始動し運転はできるが、芝刈り作業ができない。	パワーテイクオフ (PTO) がオフになっている。	PTOをオンにします。

注 他の問題については購入店へ点検を依頼してください。

仕様

仕様一覧

項目	2691481、2691487	2691482、2691488、2691576	2691483、2691489
エンジン	Intek™ - ブリッグス & ストラットン	Intek™ - ブリッグス & ストラットン	Professional Series™ Briggs & Stratton
排気量	656 cc	656 cc	725 cc
電動システム	9アンペア	9アンペア	9アンペア
バッテリー	12V - 195CCA	12V - 195CCA	12V - 230CCA
オイル容量	64オンス (1.9リットル)	64オンス (1.9リットル)	64オンス (1.9リットル)
スパークプラグのギャップ	0.030インチ (0.76 mm)	0.030インチ (0.76 mm)	0.030インチ (0.76 mm)
スパークプラグの締め付けトルク	180ポンド-インチ (20 Nm)	180ポンド-インチ (20 Nm)	180ポンド-インチ (20 Nm)
燃料タンク容量	13.2 L	13.2 L	13.2 L
トランスミッション			
型式ブ	Tuff Torq® K46	Tuff Torq® K46	Tuff Torq® K46
芝刈り機デッキ			
刈り幅	42 インチ (107 cm)	46 インチ (117 cm)	48 インチ (122 cm)
刈刃の数	2 標準リフト	3 標準リフト	3 標準リフト
刈高さ	1.5インチ - 4.0インチ (3.8 - 10.2 cm)	1.5インチ - 4.0インチ (3.8 - 10.2 cm)	1.5インチ - 4.0インチ (3.8 - 10.2 cm)
シャーシ			
前輪サイズ	15 x 6-6	15 x 6-6	15 x 6-6
前輪タイヤ空気圧	12 ~ 14 psi (0.82 ~ 0.92 バール)	12 ~ 14 psi (0.82 ~ 0.92 バール)	12 ~ 14 psi (0.82 ~ 0.92 バール)
後輪サイズ	20 x 8-8	22 x 10-8	22 x 9.5-12
後輪タイヤ空気圧	10 psi (0.68 バール)	10 psi (0.68 バール)	10 psi (0.68 バール)

出力定格に関する免責事項

出力定格：## 各ガソリンエンジンモデルの出力定格は、SAE (自動車技術者協会) のコードJ1940 (小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き) に従ってラベル上に表示され、SAE J1995に従ってレーティングが行われます。トルクは、ラベルにrpmと示されているエンジンでは2600 RPMで計測され、その他のエンジンでは3060 RPMで計測されます。一方、馬力は3600 RPMで算出されます。グロス出力曲線は、www.BRIGGSandSTRATTON.COMでご覧いただけます。ネット出力は排気装置と空気清浄機を取り付けた状態で測定されます。一方、グロス出力はこれらのアタッチメントのない状態で測定されます。実際のグロスエンジン出力はネットエンジン出力よりも高く、特に周囲の動作条件や各エンジンの特性の違いによる影響を受けます。様々な製品にエンジンが搭載されることを考えると、特定の電動装置で使用される場合、ガソリンエンジンは定格のグロス出力を発揮しない場合があります。この相違は、エンジン部品 (空気清浄機、排気装置、充電器、冷却装置、キャブレター、燃料ポンプなど)、用途に関する制限、周囲の動作環境 (温度、湿度、海拔)、各エンジンの特性の違いなどの様々な要因によって生じます。製造および能力上の制限により、Briggs & Strattonでは、このエンジンの代わりにより定格出力の高いエンジンを使用する場合があります。

Not for
Reproduction